

福島県相馬地区の海岸—残された松原と失われた砂浜—

＜須藤定久＞

福島県相馬地区で覗いた海岸は、残された松原と失われた砂浜とが印象的であった。人間はどうしたら砂浜と共存できるのだろうか？(本文もあわせて参照下さい)。



写真1 宮城県山元町磯浜漁港北側の海岸：松原の海側に造られた防波堤の足元にテトラポッドが並べられている、かつては松原を抜けると白砂の浜が広がっていただろう。画面右上の白い線は、ヘッドランド(写真3)。



写真2 福島県鹿島町右田浜：真野川河口の北側に広がるこの浜もかつては白砂青松の浜であったが、磯浜漁港北側の海岸によく似た状況となっている。



写真3 ヘッドランドの一例(宮城県山元町の海岸)：海岸の砂の移動を防ぐために海岸に設置されている構造物。先端部に釣り人の姿が見える。



写真4 海岸の崖に露出する鮮新世の砂岩に見られる美しいラミナ(福島県原町市北泉海浜総合公園脇で)：露出のようす(右上)とラミナのある厚さ約2mの砂層(左下)。